

複合型システム工学教育プログラム  
学習・教育目標 周知度・要望  
アンケート調査結果

平成22年2月

函館工業高等専門学校

点検評価委員会

## 1. 周知度アンケート調査と調査結果の概要

複合型システム工学教育プログラム学習・教育目標の学生への周知度と要望を調べるためにアンケート調査を実施した。アンケート調査の実施期間は、平成22年2月1日から8日である。

アンケート調査での設問は、次の6項目となっている。

- 設問1. 本校の「複合型システム工学」教育プログラムの学習・教育目標（裏面）について、知っていますか？（学習・教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）
- 設問2. 質問1で(1)と答えた方にお伺いします。この学習・教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）
- 設問3. 教員から、学習・教育目標の内容に関する説明はありましたか？
- 設問4. 教員から、JABEEに関する説明はありましたか？
- 設問5. 学生の皆さんへの学習・教育目標の周知方法について、意見や要望があれば枠内に記入して下さい。
- 設問6. 学習・教育目標の内容について、意見や要望があれば枠内に記入して下さい。

設問1と2では学習教育目標の周知度と周知の手段を、設問3と4では教員から学習・教育目標の内容説明、JABEEに関する説明を受けたかどうかを調べている。また、設問5と6では学習教育目標の内容と周知方法に対する学生の意見と要望を調べている。

アンケート調査の集計結果の一部を表1に示す。プログラムの全履修生445人(休学者は除く)に対して、回収率は94.4%となっている。調査の結果、学習教育目標の周知度(設問1)は全体で77.6%となっているが、プログラム3,4年次(専攻科1,2年)の周知度95%に比べて1,2年次(本科4,5年)では75%と周知度が低く、中には50%というクラスもある。また、要望・意見の中には、1,2年次(本科4,5年)の学生より、「JABEEの意義やメリットが分からない」などJABEEに対して否定的な意見が多く寄せられている。今後、1,2年次(本科4,5年)に対して、学習教育目標の周知度を上げるとともに、JABEEの意義を正しく理解させる取り組みが必要と考えられる。

なお、学年毎のアンケート結果の分析は次項以降に示している。

表1 集計結果(クラス別)

	回収率			設問1 学習教育目標の周知度				設問3 学習教育目標 説明の実施		設問4 JABEE 説明の実施	
	クラス 人数	回収 数	回収率	(1) 知っている	(2) 知らない	(1) あった	(2) 無かった	(1) あった	(2) 無かった		
4M	46	46	100.0%	33 71.7%	13 28.3%	36 78.3%	9 19.6%	34 73.9%	11 23.9%		
4E	37	33	89.2%	29 87.9%	2 6.1%	28 84.8%	3 9.1%	24 72.7%	7 21.2%		
4J	38	34	89.5%	17 50.0%	17 50.0%	22 64.7%	11 32.4%	20 58.8%	13 38.2%		
4C	43	43	100.0%	31 72.1%	12 27.9%	33 76.7%	7 16.3%	32 74.4%	8 18.6%		
4Z	32	32	100.0%	31 96.9%	1 3.1%	31 96.9%	1 3.1%	30 93.8%	2 6.3%		
1年次(本4)小計	196	188	95.9%	141 75.0%	45 23.9%	150 79.8%	31 16.5%	140 74.5%	41 21.8%		
5M	41	38	92.7%	32 84.2%	6 15.8%	33 86.8%	1 2.6%	33 86.8%	4 10.5%		
5E	30	27	90.0%	20 74.1%	7 25.9%	26 96.3%	1 3.7%	25 92.6%	2 7.4%		
5J	40	39	97.5%	29 74.4%	9 23.1%	33 84.6%	5 12.8%	35 89.7%	3 7.7%		
5C	44	36	81.8%	27 75.0%	9 25.0%	27 75.0%	8 22.2%	28 77.8%	7 19.4%		
5Z	36	36	100.0%	24 66.7%	8 22.2%	29 80.6%	3 8.3%	30 83.3%	2 5.6%		
2年次(本5)小計	191	176	92.1%	132 75.0%	39 22.2%	148 84.1%	18 10.2%	151 85.8%	18 10.2%		
1S	19	18	94.7%	18 100.0%	0 0.0%	18 100.0%	0 0.0%	18 100.0%	0 0.0%		
1K	9	9	100.0%	7 77.8%	2 22.2%	9 100.0%	0 0.0%	9 100.0%	0 0.0%		
3年次(専1)小計	28	27	96.4%	25 92.6%	2 7.4%	27 100.0%	0 0.0%	27 100.0%	0 0.0%		
2S	20	19	95.0%	18 94.7%	1 5.3%	19 100.0%	0 0.0%	19 100.0%	0 0.0%		
2K	10	10	100.0%	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%	10 100.0%	0 0.0%		
4年次(専2)小計	30	29	96.7%	28 96.6%	1 3.4%	29 100.0%	0 0.0%	29 100.0%	0 0.0%		
合計	445	420	94.4%	326 77.6%	87 20.7%	354 84.3%	49 11.7%	347 82.6%	59 14.0%		

## 2. アンケート結果の分析

■設問1 本校の「複合型システム工学」教育プログラムの学習・教育目標（裏面）について、知っていますか？（学習・教育目標の内容を全て憶えていなくても結構です）

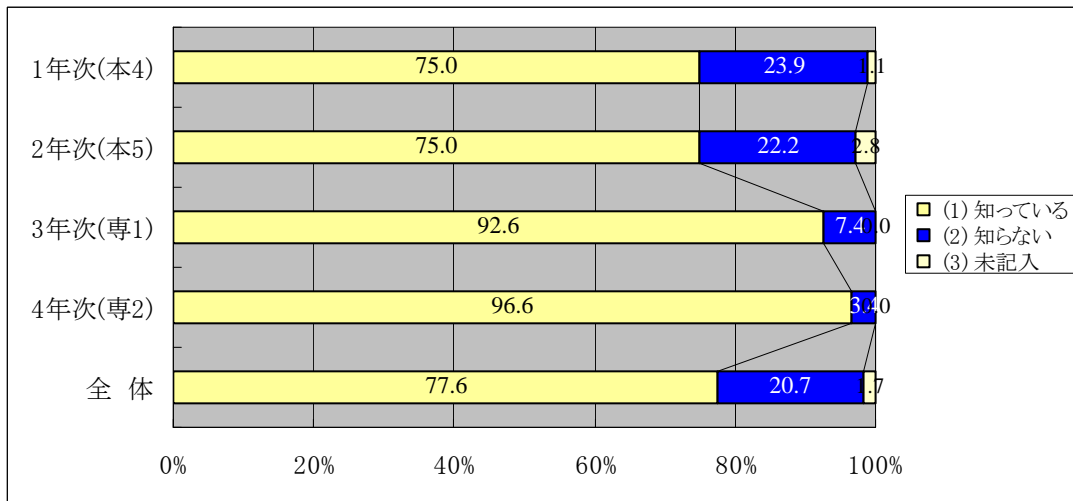


図1 設問1の集計結果

学年が進行にするにつれて、学習教育目標変更の周知度が高くなる傾向にある。1, 2年次（本科4, 5年）では75%と周知度が低く、今後、改善に向けて何らかの取り組みが必要である。それに対して、3, 4年次（専攻科1, 2年）の周知度は3年次で92.6%、4年次で96.6%と高くなっており、専攻科生に対しては十分に周知されていると判断できる。

■設問2 質問1で(1)と答えた方にお伺いします。この学習・教育目標をどこで知りましたか？（複数回答）

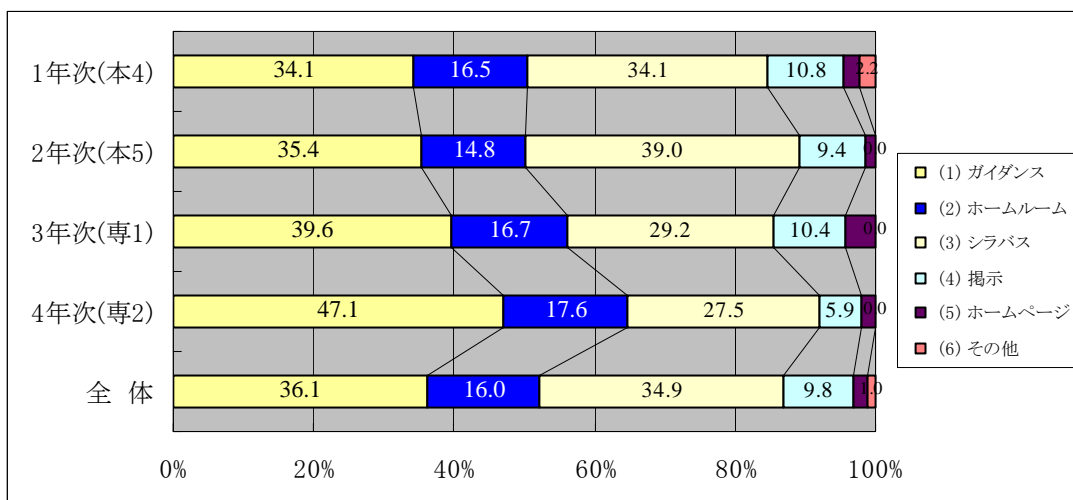


図2 設問2の集計結果

SHR 廃止の影響か、昨年度の調査に比べ(2)ホームルームと回答した割合が激減し、(3)シラバスと回答した割合が大幅に増えている。全体で見ると、(1)ガイダンス36.1%、(3)シラバス34.9%、(2)ホームルーム16%、(4)掲示9.8%の順に多く、(5)ホームページは2.2%と極めて低くなっている。また、(6)その他(1%)は、携帯カード、集会、先生から直接聞いたとなっている。

■設問3 教員から、学習・教育目標の内容に関する説明はありましたか？

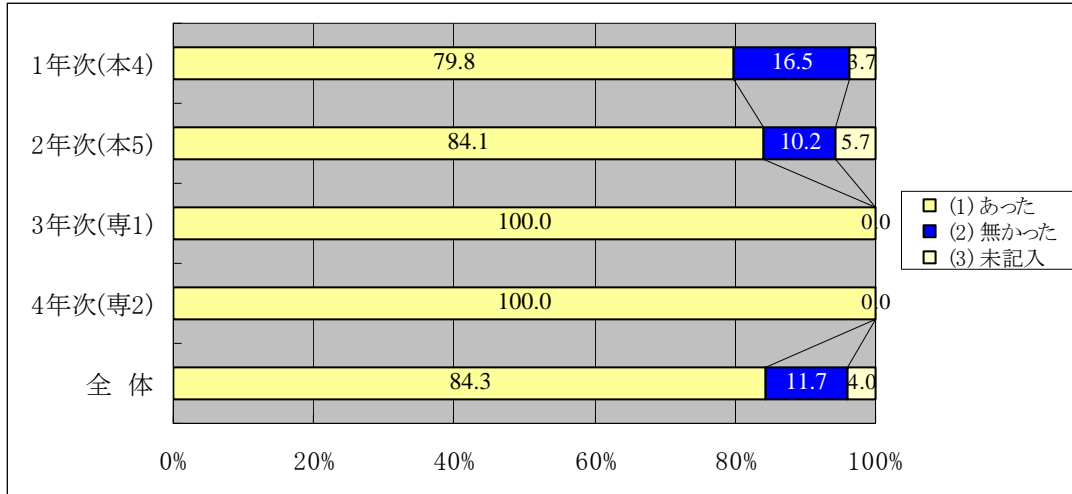


図3 設問3の集計結果

教員から学習・教育目標の内容に関する説明があったと答えた学生は全体で 84.3%と、昨年度の調査に比べ約 6%減っている。特に、プログラム 1 年次(本科 4 年生)では約 10%，2 年次(本科 5 年生)で約 5%低下している。それに対して，3,4 年次(専攻科 1,2 年生)では全員が「説明があった」と回答している。

■設問4 教員から、JABEE に関する説明はありましたか？

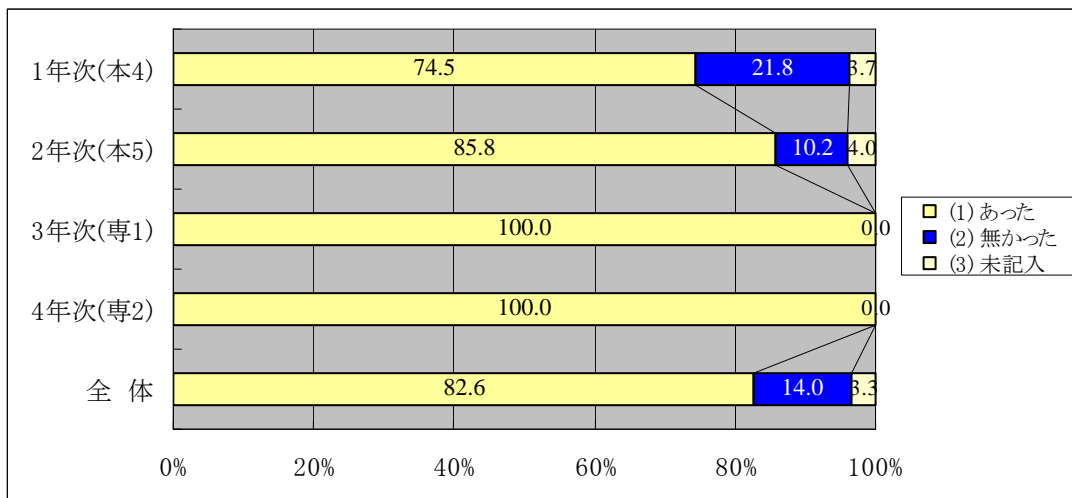


図4 設問4の集計結果

教員から JABEE に関する説明があったと答えた学生は全体で 82.6%となっている。設問3と同様にプログラム 3,4 年次(専攻科 1,2 年生)では全員が「説明があった」と回答しているのに対して，1 年次(本科 4 年生)で 74.5%，2 年次(本科 5 年生)で 85.8%となっている。

設問3，設問4ともに，プログラム 1,2 年次(本科 4,5 年生)で「説明があった」という回答が低くなっており，表1のクラス別の集計結果から分かるように，クラスにより大きなばらつきが目立つ。1,2 年次(本科 4,5 年生)に対する説明はクラス担任に依るところが大きいことから，学習教育の周知方法と JABEE に関する説明方法を再検討し，組織的に対応する必要がある。